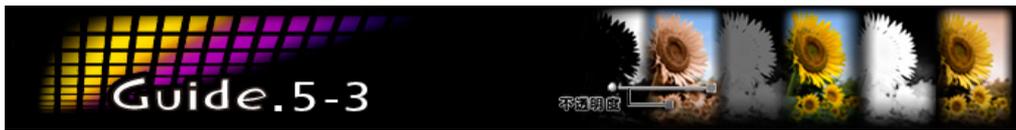


「選択コントロールポイント」で使える「全体不透明度」の使い方を知りたい



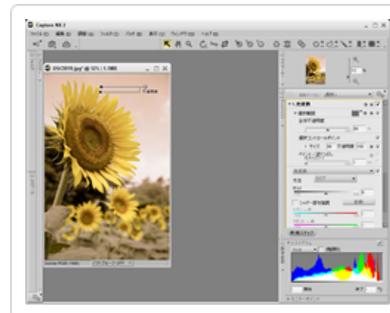
[コンテンツトップへ戻る](#)

画像編集テクニック

「選択コントロールポイント」で使える「全体不透明度」の使い方を知りたい

「選択コントロールポイント」の「+」を使ったときと「-」を使ったときの「全体不透明度」の効果の違いを説明します。

「選択コントロールポイント」と「全体不透明度」を使うことで、選択範囲とそれ以外の範囲に対する効果の強さをそれぞれ調整することができます。

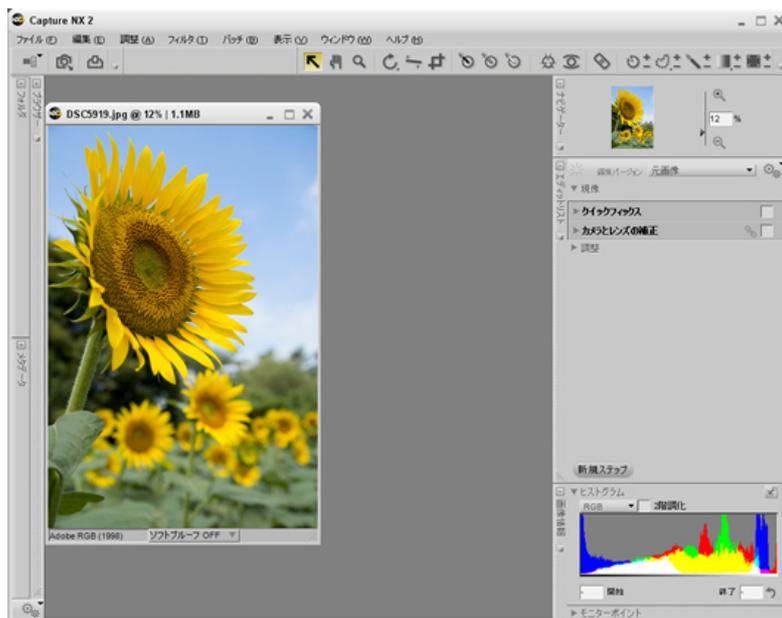


「+」の「選択コントロールポイント」を使う

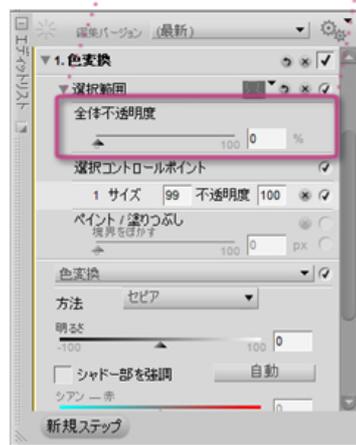
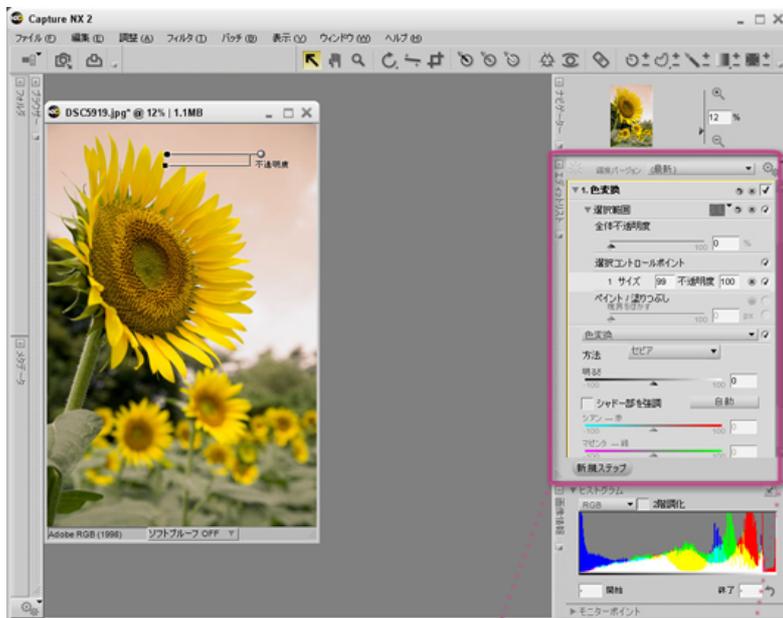
「+」を使った場合、効果がかかっていない部分への効果の適用度を調整することができます。

A.部分的（空）にセピアにした場合。（全体不透明度は0%）

下の図は画像を調整する前の状態です。



「+」の「選択コントロールポイント」を使って空を選択範囲にし、「色変換」で空をセピア調にしました。このとき「全体不透明度」は「0%」になっています。またマスクの状態は下図のようになります。



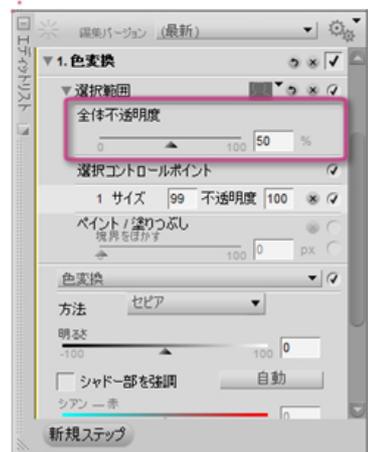
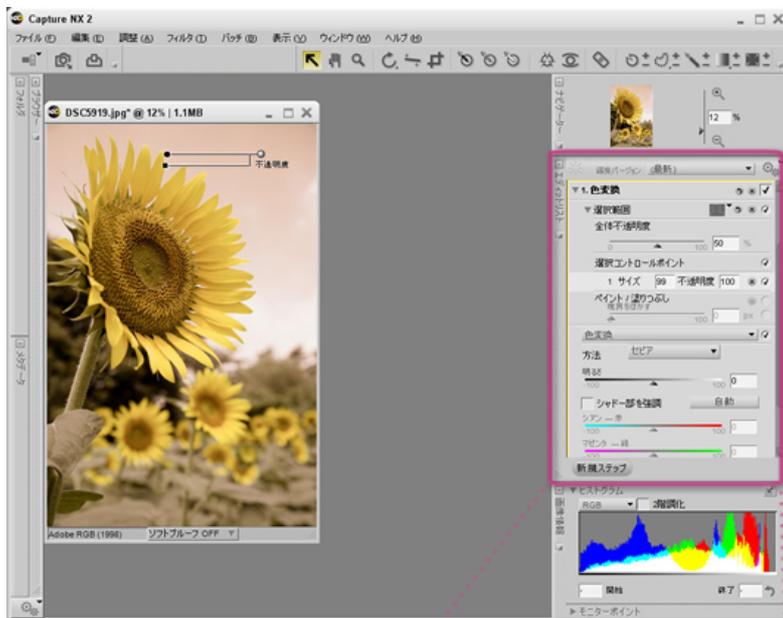
マスクの表示

「選択範囲」を「マスクの表示」に変えたもの。
 白いほど不透明度が高い（効果がかかりやすい）状態
 黒いほど不透明度が低い（効果がかかりにくい）状態

「全体不透明度」は「0%」となっています。

B. 「全体不透明度」を「50%」にした場合。

「全体不透明度」を「50%」にすると、セピア調の効果がかかっていなかった部分（空以外）にもセピア効果がかかります。このときマスクの状態を見ると、黒かったひまわりがグレーになり、不透明度が下がった（不透明度50%）ことがわかります。

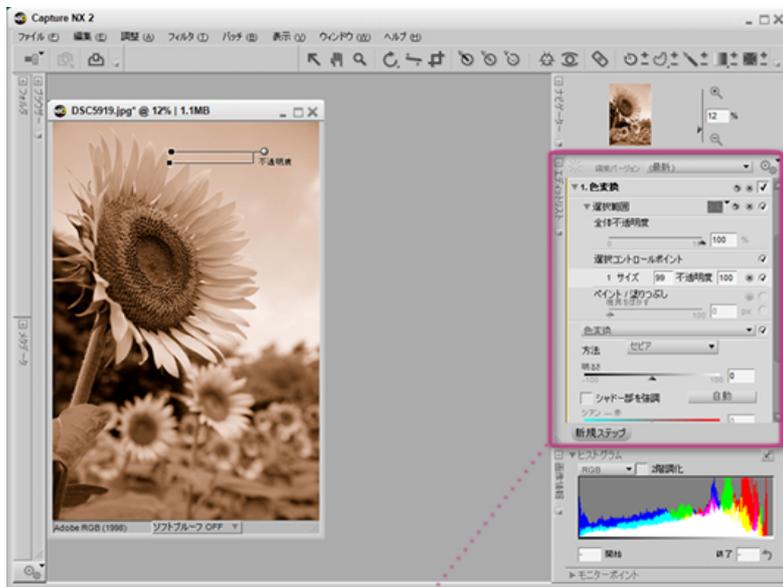


マスクの表示
 黒かったひまわりの部分がグレーになり、「不透明度」が下がったことがわかります。

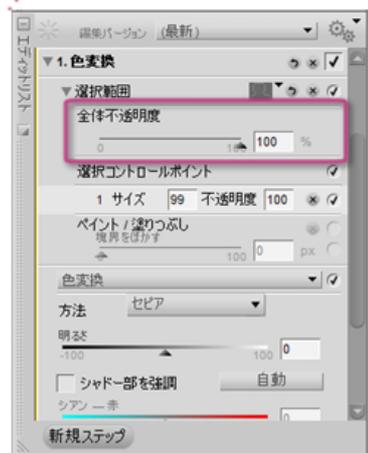
「全体不透明度」を「50%」とします。

C. 「全体不透明度」を「100%」にした場合。

「全体不透明度」を「100%」にすると、画像全面がセピア調になります。このときのマスクの状態は、全面が白になります。



マスクの表示
画像全体が白になり、画像全体に効果がかけられます。



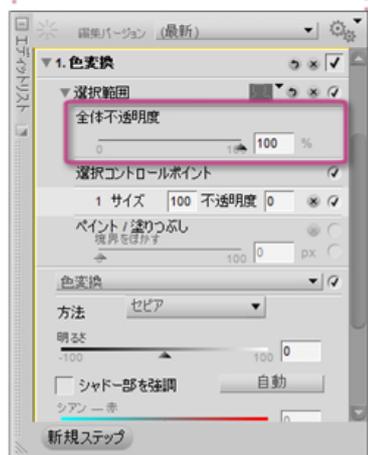
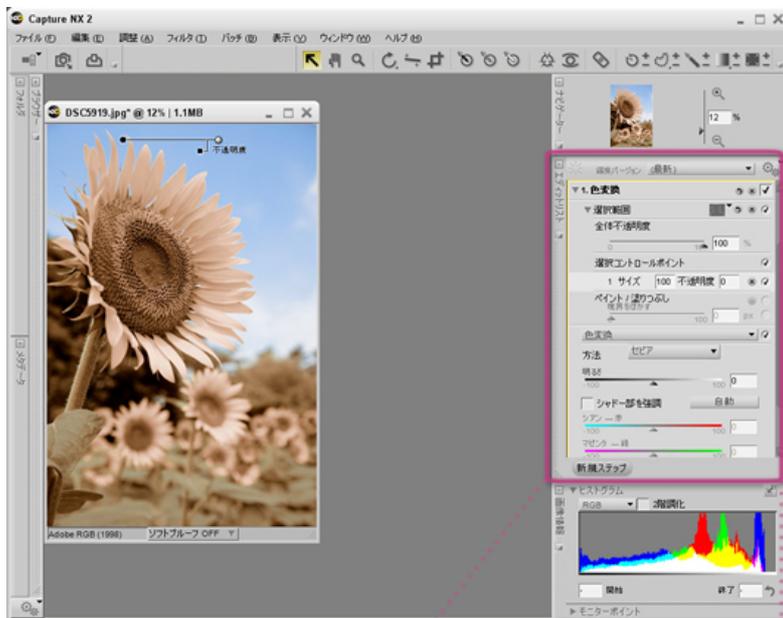
「全体不透明度」を「100%」とします。

「-」の「選択コントロールポイント」を使う

「-」を使った場合、効果がかかっている部分への効果の適用度を調整することができます。「+」の選択コントロールポイントの作例と同じひまわりの画像を使います。

A. 空以外をセピアにした場合。（全体不透明度は100%）

「-」の「選択コントロールポイント」を空において、空以外を選択範囲にし、セピア調にしました。このとき「全体不透明度」は「100%」になっています。またマスクの状態は下図のようになります。

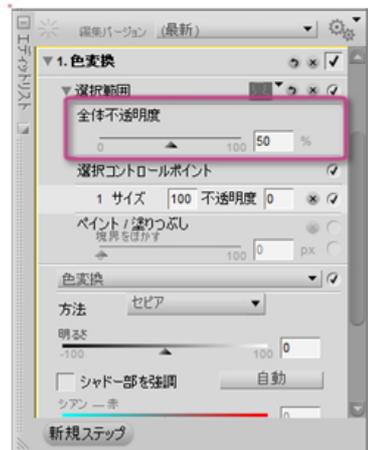
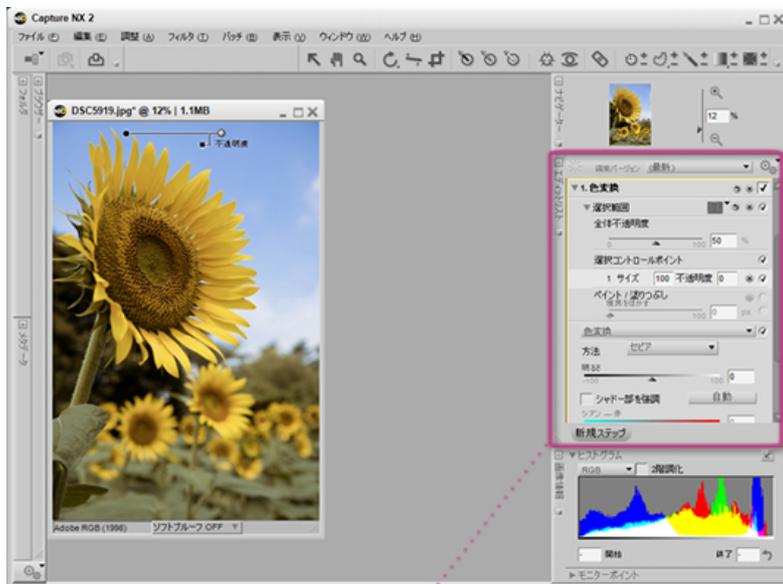


マスクの表示
 白いほど不透明度が高い（効果がかかりやすい）状態
 黒いほど不透明度が低い（効果がかかりにくい）状態

「全体不透明度」は「100%」となっています。

B. 「全体不透明度」を「50%」にした場合。

「全体不透明度」を「50%」にすると、ひまわりにかかっていたセピア調の効果が弱まります。このときマスクは、白かったひまわりの部分がグレー（不透明度50%）となります。



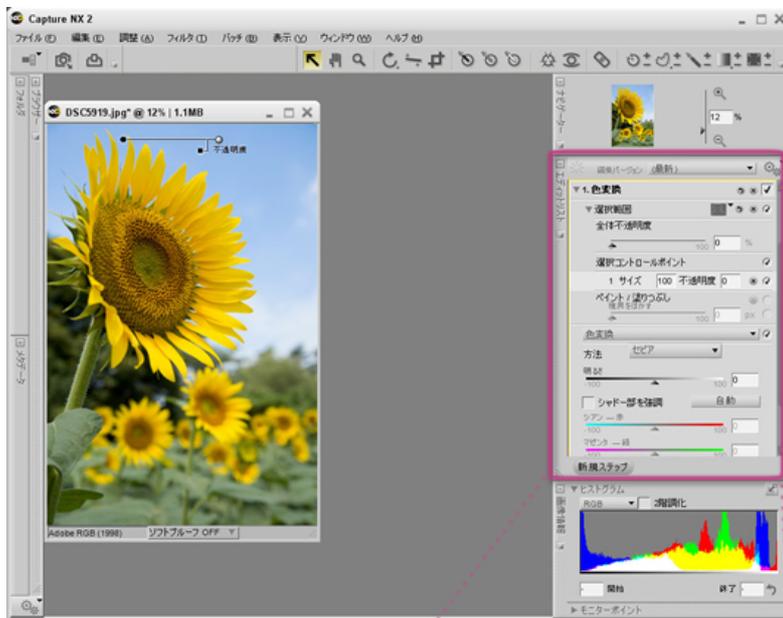
マスクの表示

白かったひまわりの部分がグレー（不透明度50%）になっています。セピア調の効果は半減します。

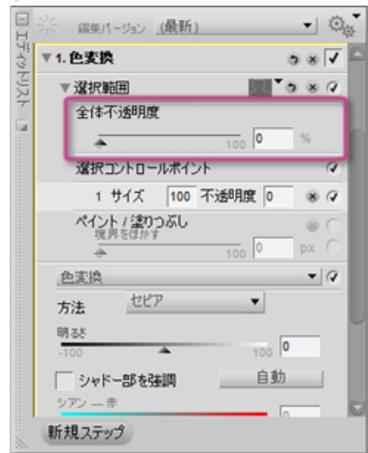
「全体不透明度」を「50%」とします。

C. 「全体不透明度」を「0%」にした場合。

「全体不透明度」を「0%」にすると、ひまわりにかかっていたセピア調の効果がなくなります。このときマスクの状態は、全面が黒くなります。



マスクの表示
全面が黒（不透明度0%）となり、セピア調の効果は完全になくなります。



「全体不透明度」を「0%」とします。

[> コンテンツトップへ戻る](#)

※掲載している情報は、コンテンツ公開当時のものです。

株式会社 **ニコン** 映像事業部

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン

© 2019 Nikon Corporation / Nikon Imaging Japan Inc.